

1. 納付金の動向について

(単位:千円)

	R4	R5	R6
	対前年度額 (前年度比)	対前年度額 (前年度比)	対前年度額 (前年度比)
納付金 総額	4,350,863 △19,615 (△0.5%)	4,359,788 8,925 (0.2%)	3,779,728 △580,060 (△13.3%)
被保険者数	36,102人	34,349人	32,288人
一人当たり の納付金額	120,516円	126,926円	117,063円

※納付金総額を本市の被保険者数で除した一人当たりの額
R6年度の被保険者数は、県の見込値によるもの

(納付金が減となった主な理由)

- 団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行等に伴い、被保険者数が大幅に減少(▲8.5%)する見込みとなったこと。
- 令和2年度(※)から令和4年度までの実績値をもとに、令和6年度の医療費総額の推計値を前年度から大幅な減(▲7.3%)として見込んだこと。(※令和2年度はコロナ禍前の医療費水準を使用)

など

2. 令和6年度保険料率について

- ①本市の保険料率を、鳥取県が算定する標準保険料率にできるだけ近づくように見直していく。
- ②低所得世帯、多人数世帯の負担感へ配慮しながら料率を見直していく。

(令和5年度第2回国保運営協議会より)

(参考)保険料収入(試算値)の比較について

	現行料率	R6県算定標準料率	差額
保険料収入	2,590,321千円	2,652,300千円	△61,979千円
(1人あたり)※	(80,225円)	(82,145円)	(△1,920円)

※ 合計額をR6年度の被保険者数32,288人(県の見込値)で除したもの。

【案】保険料率は現行どおり据え置きとする。

3. 令和6年度 国保特別会計(案)について

【歳入】

(単位:千円)

	R5当初	R6 当初(案)	差引額	増減率
① 保険料	2,702,619	2,579,852	▲122,767	▲4.5%
現年度分	2,608,704	2,515,185	▲93,519	▲3.6%
滞納繰越分	93,915	64,667	▲29,248	▲31.1%
② 国庫支出金	0	0	0	-
③ 県支出金	13,271,019	13,513,090	242,071	1.8%
特別交付金	228,728	223,633	▲5,095	▲2.2%
④ 一般会計繰入金	1,644,850	1,517,614	▲127,236	▲7.7%
⑤ 基金等繰入金	410,000	100,000	▲310,000	▲75.6%
⑥ 繰越金	1	1	0	0.0%
⑦ その他	24,703	19,255	▲5,448	▲22.1%
合 計	18,053,192	17,729,812	▲323,380	▲1.8%

【歳出】

(単位:千円)

	R5 当初	R6 当初(案)	差引額	増減率
① 保険給付費	13,088,013	13,335,157	247,144	1.9%
② 国保事業費納付金	4,359,790	3,779,730	▲580,060	▲13.3%
③ 保健事業費	154,421	160,486	6,065	3.9%
④ 積立金	50	50	0	0.0%
⑤ その他	450,918	454,389	3,471	0.8%
合 計	18,053,192	17,729,812	▲323,380	▲1.8%